

オークション

スタート好調、商品の信頼性に不安

資料 2-1-30 国内の主な総合型オークションサイトとオークション件数

サイト名	事業者名	サイトの開設時期	2000年2月末時点の 入札可能なオークション 件数（商品点数*1）	出品者で分類したサイトのタイプ （2000年3月上旬時点）	手数料（2000年3月上旬時点）
Yahoo！オークション	ヤフー	1999年9月	42万程度*2（不明）	C-CとB-Cの混合型（C-C中心）	無料
楽天スーパーオークション /楽天フリーマーケットオークション	楽天	楽天スーパーオークションは1998年7月、楽天フ リーマーケットオークションは1999年9月	楽天フリーマーケットオークシ ョンは1万6000（不明）	楽天スーパーオークションはB-C、楽天フリーマーケッ トオークションはC-CとB-Cの混合型（C-C中心）	楽天スーパーオークションは出品時に含まれる。楽天フリーマーケッ トオークションは出品時に100円、落札時に落札金額の5%（出品者に対して）
BIDDERS（ビidders）	ディー・エヌ・エー	1999年11月	4,000（4,000）	C-CとB-Cの混合型	出品時に100円、落札時に落札金額の6%（出品者に対して。その他オプ ション料などあり）
オンラインオークションMY-TRADE	サードウェア	1998年3月	1,200（1,200）	C-CとB-Cの混合型	法人は店舗当たり月額5,000円。個人は基本的に無料
eオークション	ブライムリンク	1999年10月	250程度（500）	B-C	落札時に落札金額の5%（出品者に対して）
eHammer	イー・マーキュリー	1999年11月	200程度（300程度）*2	B-C	落札時に落札金額の2～5%（出品者に対して）
Colle-SERI！ コレセリ！〜	ニフティ	1999年12月	約150（約150）	C-CとB-Cの混合型（C-C中心）	入札があった出品物に対して200円（出品者に対して）
JustNetオークション	ジャストシステム	1996年5月	120（120）	B-C	公表せず
オンセール・スーパーサイト	オンセール	1999年6月	74（328）	B-C	落札時に落札金額の10～15%（出品者に対して）
eSオークション	アスキーイーシー	1999年9月	十数（十数）	B-C	落札金額の15～20%程度（出品者に対して）
キュリオオークション	キュリオシティ	1999年1月	―*3	B-C	公表せず
eBay	イーベイジャパン	2000年2月	―*4	C-CとB-Cの混合型	出品時に30円（開始金額が1,200円未満の場合）からと、落札時に落札金 額の1.25%～5%（出品者に対して）。super shopsも同じ

*1 1回のオークションで複数の商品を出品できるサイトがあるため、オークション件数とは別に記述した

*2 推定値

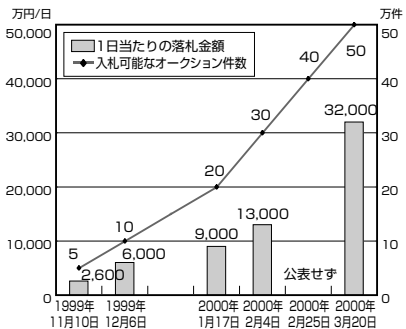
*3 2000年2月中にオークションを2回実施。合計で約100件（約200商品）の出品があった

*4 eBayの国内オークションサイトは2000年2月末にスタートしたため、便宜上ハイフンで示した。開始後1週間程度で日本円で入札できるオークション数は1,000件強となったが、大口の出品者（企業）が出品を選
らせるなどしたため一時減少。その後再び増加し、3月21日時点では1,000件強となっている（super shopsを含む）

C-C：一般消費者など個人が出品者となっているオークション B-C：メーカーや商店などが出品者となっているオークション

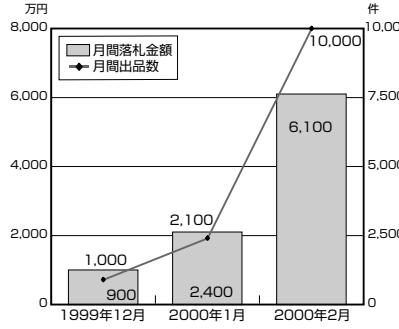
出所 「日経マーケットアクセス」（日経BP、2000年4月）の資料を元に作成

資料 2-1-31 ヤフー！オークションにおけるオ
ークション件数と平均落札金額



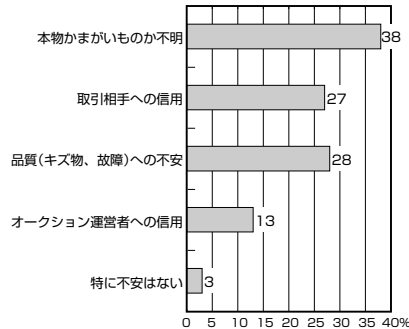
出所 「日経マーケットアクセス」（日経BP、2000年4月）の資料を元に作成

資料 2-1-32 BIDDERSにおける月間出品数
と落札金額の推移



出所 「日経マーケットアクセス」（日経BP、2000年4月）の資料を元に作成

資料 2-1-33 オンラインオークション参加時の
不安点 N=3470



出所 「インターネットオークションの利用に関する調査」（マイボイスコム、http://www.myvoice.co.jp、1999年9月）の資料を元に作成

解 説

1999年から2000年は、「インターネットオークション」が新出ビジネスとして脚光を浴びた年であった。国内の主な総合型オークションサイトの大半が1999年にサービスを開始している（資料2-1-30）。

「ヤフー！オークション」と「BIDDERS」の取引状況を見てみると、両社ともかなり好調なスタートを切っていることがわかる（資料2-1-31～32）。ヤフー！オークションの入札可能件数は、2000年1月時点で20万件、3月時点では50万件と2か月で倍以上の伸び。BIDDERSの月間落札金額も、2000年1月時点から、1か月で約3倍弱の成長をしている。

オークションサイトの3タイプ

オークションサイトのタイプとしては、「B to C型」「C to C型」、「B to C・C to C混合型」の3つに大別される。今のところB to C型のサイトが多いが、C to C型オークションサイトも登場しており、新たな市場を創造したという点で注目に値する。

こうした市場の盛り上がり一方で、マイボイスコムの調査によると、やはり多くの消費者が商品の信頼性に対して不安を抱えており（資料2-1-33）、今後はこうした不安の払拭が鍵となりそうだ。

（栗飯原理咲 生活者の視点からECを考えるメーリングリスト「LIFE」主宰）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp